

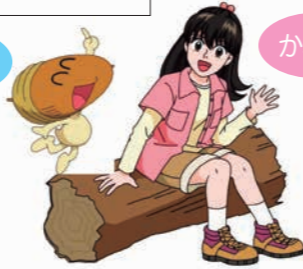


オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト
市町村助成事業紹介

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ

かれん



本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

1 小平市

小平市地域エネルギービジョン推進事業

小平市では、東京学芸大学、工学院大学と連携し、環境学習の一環として、10月に小平第十二小学校で出前授業を行いました。「小平市民版環境配慮指針小平流暮らしの工夫」を基に、1回目は、東京学芸大学の学生が地球温暖化とその防止策として家庭で出来る省エネについて授業を行いました。2回目は、工学院大学の中島研究室と担任教諭が、小学校の屋上にある太陽光発電システムを使って、創エネについて授業を行いました。

今回の授業を通して、省エネや創エネについて、楽しく学ぶことができました。

【問合せ先】小平市 環境政策課 TEL:042-346-9818

Tama
小平市

2 日野市

日野市環境かるた大会(ふだん着でCO₂をへらそう実行委員会)

日野市では、平成20年度から「ふだん着でCO₂をへらそう実行委員会」を立ち上げ、CO₂の削減を市民に対して啓発しています。その中の取組の一つとして、市内の小学生を対象とした「環境かるた大会」を行いました。「日野市環境かるた」は、楽しく遊びながら環境についての標語の意味を考えられるようなものになっています。標語は、市内の小学生から募集し決定しました。

今年は、2年目の開催となりましたが、昨年よりもパワーアップし、約300人と多くの方に参加していただきました。子供たちも大会や練習を通して環境の大切さを感じてくれたようです。

【問合せ先】日野市 環境保全課 TEL:042-585-1111

Tama
日野市

3 利島村

公共緑地保全事業

利島村では、冬季の強風や塩害による倒木や腐食が多く見られるため、公共緑地保全事業を実施しています。定期的なメンテナンスをすることにより、被害を最小限にとどめることができます。公共の緑地である「はしけと海の歴史広場」、「南が山園地」に植樹した樹木を、剪定・管理し、保全しています。

なお、樹木の剪定や管理については、専門的な技術を要するため、専門の業者に委託し、樹木の適正な育成・管理を図っています。

【問合せ先】利島村 総務課 TEL:04992-9-0011

Islands
利島村

多摩交流センターだより

第20回 多摩の歴史講座 終了報告

本紙8月号(No.35)で募集した「第20回 多摩の歴史講座」(東京市町村自治調査会・たましん地域文化財団共催)は、平成28年9月23日から11月18日にかけて隔週金曜日に全5回の講座を開催し、30歳代から80歳代の100名近くの受講生の皆様にご参加をいただきました。

この講座は、歴史と文化の宝庫である多摩地域にスポットをあてた連続講座で、本年度は「多摩の名主たち」をテーマに、第1講から第4講は多摩信用金庫府中支店会議室で講義を、第5講は町田市小野路にある小島資料館で講義及び周辺の見学会を実施しました。



▲毎回、充実した講座でした。

第1講
(9月23日)

「熊川村名主石川家に見る幕末維新期のリーダー像」では、中央大学文学部兼任講師の牛米努氏にご登壇いただき、冒頭、近世の村と百姓、名主の関わり合いや組合等、総論的な講義があり、その後今回のテーマである熊川村の石川家が名主に加え地域の惣代として活動した、幕末・維新期の活躍について講義をいただきました。

第2講
(10月7日)

「武蔵野新田の惣代名主一関前村井口家を中心に」では、武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館学芸員の米崎清実氏から、関前村を開村した井口家、村での強大な力が次第に小前百姓を中心としたものへと変化していく中、村の外である武蔵野新田に活躍の場所を求めていったことを御門訴事件にスポットをあて、詳しく解説していただきました。

第3講
(10月21日)

「古新田と武蔵野新田の豪農—小平から豪農のヴァリエーションを考える—」では、国文学研究資料館プロジェクト研究員の三野行徳氏から、小平の歴史について小川村を開拓した小川家がどうやって村を拓いたか、またその後、小川家はどのようになっていったかを中心に解説があり、さらには、武蔵野新田でのさまざまな開拓者についての講義もいただきました。

第4講
(11月4日)

「連光寺村名主富沢家をめぐる地域と社会」では、淑徳大学アーカイブス主任専門員の桜井昭男氏により、富沢家がいつ頃、どのようにして連光寺村の名主になったのか、また村や地域で富沢家がどのような活動をしていたのかを当時の日記や書物等により、詳しく解説していただきました。

第5講
(11月18日)

「小島家の学問とその伝播—信州蚕種商との交流から—」では、町田市小野路にある小島資料館の小島政孝館長から全体講義をいただいた後、2班に分かれ小島館長の解説による資料館見学と、小島日記研究会の重政文三郎氏の解説による小野路一里塚、小島家の墓所、小野神社等の資料館周辺見学が行われました。

資料館は、当時の小島家を改修し保存されています。小島館長の解説を受けながら、小島家代々の日記のほか、新撰組近藤勇、土方歳三らが天然理心流の道場で剣道に励んでいたころの資料や新撰組幹部として活躍したころの書簡など、貴重な資料を拝見することができました。



▲小島資料館での講義



▲小野神社の見学

今回の歴史講座でご講義いただきました講師の先生、参加されました受講生の皆様に厚くお礼申し上げます。次回も皆様の興味・関心を深めることができる講座を企画しますのでご期待ください。